

令和3年6月2日



西中学校通信 第6号

自主的に考え、正しく行動できる生徒 <自立と自律>

「誰もが、そう思うようになる」ことの大切さ

日本に来た外国の人々の多くが、日本の鉄道の時間の正確さに驚かされるといいます。大都市では、数分おきに電車が発車しているにもかかわらず、時間通りに電車が駅にやってきて時間通り発車します。時々、トラブルが発生し時間が多少遅れるだけで、日本人の多くが普段とは違うという感覚をもちます。日本人には、当たり前前の時間通りの鉄道の運行も、外国から見れば、数分のくるいもなく時間通りにやってきては発車する日本の鉄道は、驚きであり、感動すらおぼえるものだといえます。

日本の鉄道は、時間通りに運行するため大きな努力を積み重ねてきたはずですが、長い時間の経過の中で、もはや時間通りの運行は「当たり前」のことであり、鉄道関係者だけでなく、鉄道を利用する私たちもそれが「当たり前」と感じています。

このように、物事は、それにかかわるすべての人が「そうなることが当たり前だ」と思うことが、実は、そのことの質の高さをつくり、高いレベルを維持することになるのだと思います。

「当たり前」を徹底し、突き詰めていけば「文化」になり「ブランド」になります。

日本の鉄道が「時間を守る」という当たり前前のことを徹底したように。

学校も同じだと思うのです。「西中」のイメージは何か、と人に聞いたら、どんな答えが返ってくるでしょうか。「西中」は、どんな学校かと人に聞かれたら、生徒の皆さんは何と答えるのでしょうか。

まず、学校の中のすべての人間が、強く「このような学校になりたい」と思うことが大切です。「時間を守る学校」と強く思えば、そのような学校になり、「無言清掃をしっかりとやる学校」と思えば、そのような学校になります。そして、いつしかそれが、イメージとして定着すれば、西中の「文化」「ブランド」となります。

大切なことは、「誰もが、そう思うようになる」ことです。

西中生の活躍

通信陸上競技大会狭山市予選会

○1年男子100m	5位		
○2年男子100m	優勝（県大会出場）	2位	
○男子200m	3位	4位	
○男子400m	7位	8位	
○男子1500m	4位		
○男子3000m	4位	5位	
○男子走幅跳	2位	7位	8位
○男子砲丸投げ	2位	3位	4位
○男子400mR	3位		
○2年女子100m	4位	7位	
○3年女子100m	8位		
○女子200m	8位		
○女子100mH	8位		
○女子砲丸投げ	優勝（県大会出場）		
○女子400mR	3位		

リモート朝会を実施

過日の学校朝会は、初めてのリモート朝会となりました。

昨年度は、放送による朝会だったため、表彰は、各学級で行われていましたが、今回からは全校生徒のしている前で活躍した生徒を称えることができました。

失敗するかも知れないが、とにかく新しいことをやってみると、こんなこともできるかもしれないという可能性が広がります。

早く生徒用タブレットを、使用できる状態にして、多くのことに活用していきたいと思います。

